

～中山間地域における見守り活動の展開～（金融推進課）

中山間地域を中心に推進活動を行わず、日々、過疎化地域に住まわれる地域住民の方々の安否確認等の訪問活動を行う“ふれあい訪問係”を8名配置しています。これら職員は安否確認を行うだけでなく、過疎化地域の住民に寄り添い、コミュニケーションを図る中で様々なニーズや意見を聴取し、事業運営への反映に取り組んでいます。

また、中山間地域の高齢者や児童が安心して暮らしていけるよう、管内4市4町が行う下記事業の1事業者としてそれぞれ調印いたしました。今後も各方面と協力しながら、地域の見守り活動に取り組めます。

・ふれあい訪問係の具体的な活動

1. 担当地区の全戸面談活動
 - ① 組合員の安否確認や健康状態の確認
 - ② 組合員・利用者の取引状況の把握と情報収集
2. ふれあい生活指導員・営農指導員と連携した取組み
 - ① 地域生活文化活動・地域活動への取組み
3. 各種相談に関する取次ぎ対応

市町	事業名	締結・登録時期
神河町	神河町安心見守りネットワーク事業	平成26年12月
赤穂市	赤穂市高齢者見守りネット事業	平成27年4月
上郡町	上郡町高齢者等徘徊SOSネットワーク事業	平成27年7月
たつの市	たつの市地域見守り活動	平成27年8月
宍粟市	宍粟市高齢者地域支え合い活動事業	平成27年12月
福崎町	福崎町高齢者等見守りネットワーク事業	平成28年9月
市川町	認知症高齢者等見守り・SOSネットワーク事業	平成28年11月
相生市	相生市見守りSOSネットワーク事業	平成28年12月

～介護サービス拠点・内容の見直し～（生活福祉課）

組合員およびその家族ならびに地域住民が介護・支援を必要とする状態になっても、住み慣れた地域で安心して日常生活を送ることが出来るように、7つの介護センターを拠点とし、居宅介護支援（ケアプラン作成）・訪問介護（ヘルパー派遣）・通所介護（デイサービス）・福祉用具の取扱いにより、安全・安心な介護サービス提供に努め、利用者の在宅生活の支援に取り組んでいます。

事業継続に必要な有資格者の増大を図るとともに、介護保険制度改正等を踏まえて運営の効率化を図っていきます。

～介護従事者の育成～（生活福祉課）

介護サービス提供に必要な有資格者を確保するため、就労を目的とした介護職員初任者研修を開催し、介護従事者の育成を図っています。介護センター職員によるガイダンスの実施、介護現場実習の受入により、人材確保に向けたアプローチを行います。

介護職員初任者研修

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
受講計画	—	15名	15名	15名
受講実績	15名	20名	15名	

+

～ふれあい農園～（営農企画課・広報課）

当JAでは、支店毎に職員と組合員・利用者がふれあえる農園を設置し、ふれあい活動として近隣の保育園や幼稚園の園児等に対し、食育活動の一環として講習会や勉強会も実施しています。ここでの農業体験・収穫体験等を通じて「農」に対する理解醸成を図る活動を展開しています。

JA職員自らがふれあい農園を利用し農作物を栽培していく中で、農業に対する苦労や収穫時の喜び等を体験することにより、農家との共感力を増勢し農業の会話がはずむことや地元児童等を招いて食農・食育体験の場として活用することを目的とし、当JAが特産化を目指す作物の栽培等、様々な品目に挑戦していきます。

～貸し農園～（営農企画課）

農業者以外の者が野菜や花を栽培して、自然にふれあうとともに、農業者に対する理解を深めることを目的に、貸し農園「旬彩ファーム高浜」を開園しました。全12区画で、1区画あたりは24㎡となっています。井戸や物置場を設置し、農具なども一部無料で使用することができます。開園イベントでは、農園利用者にキャベツやブロッコリーの苗を提供しました。

更に、平成29年4月より「旬彩ファーム姫路灘」を開園します。

～ふれあい訪問～（広報課）

当JAでは、各事業所から恒常の訪問活動とは別に、組合員・利用者の意見を聴取する場としてふれあい訪問を実施しており、このようなコミュニケーション活動を通じて集めた貴重なニーズや意見を各種事業展開に生かしています。

この訪問を通じて地域の組合員・利用者と接する機会を広げ、組合員・地域とJAとの“絆”を深めていくことを目的に、各支店で独自に発行した「支店ニュース」を活用し、毎月2～3日程度かけて支店管内を訪問しています。支店の組合員戸数または広報誌配布数のいずれか多い数字を必要訪問戸数としていますが、今後は更なる「支店ニュース」配布と面談率を上げることにより対話の充実に取組みます。

ふれあい訪問

（単位：戸）

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
訪問対象先	112,580	113,143	113,406
訪問実績 (各月平均)	95,720	94,973	89,586

※ 訪問対象先は毎年度当初に設定

（支店単位で組合員戸数と広報誌の配布部数のいずれか多い方を採用）

～総合開催～【ふれあい農産物フェア】（広報課）

大規模なイベントではなく、職員の手作りによる1～数支店規模でのふれあい農産物フェアを実施することにより、職員と組合員・利用者とがふれあえる場作りを展開しています。また、取組みの進んでいる地区では、組合員の積極的な参画も見られ、地域の活性化に資する活動として今後も活動強化していきます。

地域の組合員・利用者の方々に日頃の感謝を表すことを目的に、農業面では秋の収穫時期を中心に農産物品評会を開催し、優秀な農産物を栽培された農家を表彰することにより、農業に対する意欲の喚起や農業振興を図っています。生活文化面では、女性会活動で活動されてきた習い事などの発表の場として提供しています。今後は高齢化社会・人口減少が進展していく中で、地域活性化を目的として、高齢者と若年世代が共にJAに対してより親しみを感じていただくことのできるイベント内容を展開します。

総合開催開催数

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
計画	22 会場	22 会場	21 会場
実績	22 会場	22 会場	22 会場

※ 計画は毎年度当初に設定する

～食農教育活動～（生活福祉課・広報課）

各支店のふれあい農園や農産物直売所『旬彩蔵』等で次代を担う地元児童を対象に食農教育活動を実施し、大地の恵みである農産物のありがたさ、生産農家の苦勞、だからこそ感謝して好き嫌いせずに食べることの大事さ等を知ってもらう食農教育活動を展開しました。

また、これら活動に生産者である組合員の参画を促し、職員の運営だけでなく組合員参画の下で活動が展開され、将来的には准組合員・地域住民の参画へと繋げていきます。

児童に農業への興味や魅力を感じてもらおうと同時に、安全・安心な農産物への関心を持つことによる食に対する健全な育成を目指し、作物の定植から収穫までの体験を味わうことや、紙芝居やクイズによる“楽しみながら学ぶ”食育活動を展開しています。今後は児童の親世代の参画を目指し、ふれあいの強化を図ります。

食農活動実施回数

（単位：回）

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
植付体験	38	38	54
収穫体験	74	86	93
農産物フェア	22	22	22
食農教育	49	119	114

～JAグループ広報活動～（広報課）

- ・JA全農…JAグループが農業に根差した組織であることを消費者に正しく伝えるために、地域の営農にかかる活動として、県下JA事業の取組みや特産農産物等を積極的にPRするため「JAチャンネル兵庫」を創設し、JR元町駅とJR姫路駅にて広報活動イメージを放映しています。

放映内容	JAおよび連合会の事業の取組みや農畜産物の紹介等、兵庫県の農業をPR
放映場所と放映時間	JR元町駅東改札（南側）の壁面 （7：00～23：00） JR姫路駅中央コンコースの柱 （4：30～25：30）



JR 元町駅での「JA チャンネル兵庫」放映



JR 姫路駅中央コンコースでの「JA チャンネル兵庫」放映